

法学部生としての実績の証明に!!



法学検定試験

主催：法学検定試験委員会
公益財団法人 日弁連法務研究財団
公益社団法人 商事法務研究会

2022年11月27日(日)実施

- 出願期間：9月13日（火）～10月13日（木）
 - 願書提出締切：10月14日（金）
 - 受験料（税込）：
 - ベーシック〈基礎〉コース・・・・・・・・ 4,400円
 - スタンダード〈中級〉コース・・・・・・・・ 6,600円
 - アドバンスト〈上級〉コース・・・・・・・・ 9,900円
 - 併願 ベーシック・スタンダードセット*・・・・ 8,800円
 - 併願 スタンダード・アドバンストセット*・・・・ 13,200円
- *セット割引は2つのコースを同時に申し込んだ場合のみ適用されます

●法学検定試験とは

『**法学の知識を客観的に評価する、日本唯一の全国規模の試験**』です。大学での単位認定だけでなく、企業への入社・配属時の参考資格など、さまざまな場面で活用されています。

●主な受験者

法学部生を中心に、法科大学院生、公務員などの社会人等、法律に関わる多くの方が受験しています。法学部生では主にベーシックを1～2年生が、スタンダードを2～3年生が受験しています。学習が進んでいる方はアドバンストにチャレンジしてみてください

●法学検定の活用

就活の際に履歴書に記入することができ、**法学部生としてしっかり学んだことを証明する材料**になります。

また、**宅建・行政書士・司法書士**などの法律資格や**公務員試験**を目指すための足固めとして非常に有益です。

もちろん、法科大学院や司法試験を目指す方にとっては、ステップアップに最適です。

法学既修者としての学力を有しているか否かの判定材料として、多くの法科大学院で法学検定試験の成績が参考とされています。



ー5つのメリット！ー

- ①授業前後の**予習復習ツール**として活用
- ②**試験前の知識確認**に最適
- ③自己の**学習到達度を確認**する指標
- ④**就職試験でのアピール**材料
- ⑤法律資格や公務員試験のための**土台固め**

●法律出版社がバックアップ

後援：株式会社 三省堂，株式会社 商事法務，株式会社 有斐閣

●試験レベル・受験科目

ベーシック〈基礎〉コース

法学入門，憲法，民法，刑法

→法学の初学者がまずはおさえておくべき
基礎的なレベル!

スタンダード〈中級〉コース

法学一般，憲法，民法，刑法，
選択（民訴，刑訴，商法，行政法，基本法総合から1科目）

→法学を学習する者が到達すべき
必須レベル!!!

アドバンスト〈上級〉コース

法学基礎論，憲法，民法，刑法，
選択A（民訴，刑訴，商法，行政法から1科目）
選択B（選択A，労働法，破産法，経済法，知的財産法から1科目）

→法学を専門的に学ぶ者が目指すべき
上級レベル!!!

効果的な学習のために・・・

ベーシック・スタンダードコースには**公式問題集**があります

⇒問題集をしっかりと学習していれば解ける問題が全体の**6～7割**出題されます！

公式問題集・過去問集

ベーシック<基礎>コース

レベル⇒法学部2年次程度

主な受験者：法学部1年次生～2年次生

受験科目		試験時間
必須	法学入門 憲法 民法 刑法	120分

【4科目・合計60問】

科目＝法学入門10問/民法20問/その他各15問

問題集収録の4科目は必須です

合格率は例年、約60%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の入門書】

『2022年法学検定試験問題集 ベーシック<基礎>コース』

定価 2,420円(税込)



授業前後の予習復習ツールとして
問題集を利用しながら合格をめざそう

6～7割が問題集から出題*

詳細な解説付きで自習も可能！
問題集に取り組むことが合格への近道です！

*問題集の問題がそのまま出題されるとは限りません

スタンダード<中級>コース

レベル⇒標準的な法学部3年次程度

主な受験者：法学部2年次生～3年次生

受験科目		試験時間
必須	法学一般 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目Aおよび基本法総合*から1科目	

【5科目・合計75問】

科目＝法学一般10問/民法20問/その他各15問

〔選択科目A〕

①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法
必須4科目に加え1科目選択の5科目です

合格率は例年、約55%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の教科書】

『2022年法学検定試験問題集スタンダード<中級>コース』

定価 4,180円(税込)



・公務員試験などの受験を考える人の土台固めに
・自己の学習到達度を確認する指標として

6～7割が問題集から出題*

全8科目の問題が収録されているので
受験対策以外にも授業に有効活用可能！

***基本法総合は、憲法・民法・刑法から出題します**

問題集の憲法・民法・刑法の収録問題から6～7割が出題される他、やや難易度の高い問題や他の法分野との境界領域の問題も出題されます

アドバンスト<上級>コース

レベル⇒学習の進んでいる法学部3年次～修了程度

主な受験者：法律資格を目指す法学部生
法律実務に従事する公務員や法務スタッフ

受験科目		試験時間
必須	法学基礎論 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目AおよびBから2科目*	

【6科目・合計55問】

受験科目＝法学基礎論10問中5問選択/その他各10問

〔選択科目A〕

①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法

〔選択科目B〕

⑤労働法 ⑥破産法 ⑦経済法 ⑧知的財産法

*選択科目Aから少なくとも1科目選んでください
必須4科目に加え2科目選択の6科目です

合格率約20%の難関コース!!

【学習教材：公式過去問集+各科目の基本書+各種判例集】

『2022年法学検定試験過去問集アドバンスト<上級>コース』

定価 3,850円(税込)



・より上位の法律資格や公務員試験を
目指す方のステップとして
・意識の高い学生生活を送るために

過去3年分の過去問を収録
過去問で傾向に慣れよう！

過去問集のため、この中からの出題はありません
問題集ではありませんのでご注意ください

出願から成績通知までのフロー（個人申込の場合）

※団体出願については、申込み責任者に必ずご確認ください

出願書類配布開始
2022年9月～

- 出願書類（受験要項・願書・専用封筒）の入手方法
- ①大学生協購買部・主要書店（特約書店等）からの入手
・・・特約書店等で無料配布します。
 - ②ウェブサイト等での出願書類の請求
・・・ウェブサイトから出願書類の請求ができます。

出願受付開始
2022年9月13日

- 申込みの方法
【郵送での申込み】

出願受付終了
【郵送申込締切】
2022年10月13日
(10月14日〔消印有効〕)

- ①受験料を特約書店等へ支払う場合
特約書店等で受験料を支払い、特約書店等発行の「書店払込証書」と「願書」を「専用封筒」に入れて、法学検定試験委員会事務局へ郵送してください。
- ②受験料を指定口座へ振り込む場合
下記の銀行口座に受験料を振込み（ATM可・インターネットバンキング不可）、「振込金額」と「振込人氏名」が明記されている利用明細、振込証明書等の振込み証明書類「願書」を「専用封筒」に入れて、法学検定試験委員会事務局へ郵送してください。

【ウェブサイト、コンビニでの申込み締切】
2022年10月17日
※ウェブ申込+コンビニ決済の場合は10月13日

受験料振込先

みずほ銀行 銀座支店（普通）2275905
口座名 法学検定試験委員会事務局



- 【ウェブサイト、コンビニ（店頭設置機械）からの申込み】

受付期間中は、ウェブサイトの出願専用ページ（QRコードから直接アクセスできます）または全国のコンビニ（店頭設置機械）から直接、受験の申込みができます（締切日にご注意ください。ウェブサイトから申し込まれた場合、支払方法で締切日が異なります）。
ウェブサイト、コンビニ（店頭設置機械）から直接、受験を申し込まれた場合は、願書の郵送は不要です。

受験票の発送
2022年11月9日頃

- 受験票の到着・写真の貼付

受験票は願書に記載された住所宛に、直接受験者に発送します（併願の場合、コースごとに1通ずつ）。受験日より6日前までに受験票が到着しない場合には法学検定試験委員会事務局までご連絡ください。
受験票には写真貼付欄（1ヵ所）がありますので、写真をご自分で貼付してください。写真の大きさは縦4cm×横3cmで6ヵ月以内に写した無背景、上半身脱帽、正面の証明写真（カラー・モノクロ共に可）に限ります。写真のコピー、家庭用プリンターで普通紙に印刷したもの、プリクラ、サングラス着用、集合写真は認められません。試験当日に写真票は回収いたします。

試験当日
2022年11月27日

- 受験票の持参

受験票（写真貼付欄〔1ヵ所〕に写真貼付のこと）は当日必ず会場に持参してください。

試験結果発送
2023年1月5日頃

- 試験結果の発送

試験結果は、願書に記載された住所宛に発送します（願書に記載された住所と現住所が異なる場合は、必ず郵便局に転送届をお出してください）

法学検定試験の概要

●「法学検定試験」とは

「法学検定試験」は、法学全般に関する学力水準を客観的に測る全国規模の国内唯一の検定試験として、法学検定試験委員会が2000年から実施する試験です。大学等で修得した法学的素養がどのようなレベルにあるかを客観的に証明するツールとして、法学部在学、出身か否かを問わず、毎年多くの学生や社会人等がチャレンジしています。

ベーシック〈基礎〉コース、スタンダード〈中級〉コース、アドバンスト〈上級〉コースの3つのコースがありますので、学習進度に応じてコースを選択し、徐々にステップアップしていくことが可能です。大学での単位認定、企業の入社や配属時等、さまざまな場面で利用されています。

●法学検定試験委員（2022年3月現在）

◎委員長

新堂 幸司 公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授

○副委員長

江頭憲治郎 公益社団法人商事法務研究会代表理事会長・東京大学名誉教授

委員（五十音順）

大谷 寛	同志社大学名誉教授	高橋 宏志	公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授
奥島 孝康	早稲田大学名誉教授	永井 和之	中央大学名誉教授
佐藤 幸治	京都大学名誉教授	中田 裕康	早稲田大学教授・東京大学名誉教授・一橋大学名誉教授
塩野 宏	東京大学名誉教授	三井 誠	神戸大学名誉教授
		安永 正昭	神戸大学名誉教授

法学検定試験 各コース実施要領

・受験資格

「法学検定試験」は、どなたでも受験することができます。受験資格は一切問いません。

ベーシック〈基礎〉コースとスタンダード〈中級〉コース、スタンダード〈中級〉コースとアドバンスト〈上級〉コースは併願することができます。

・試験会場

一般会場と団体会場があります。詳細は9月上旬より配布の「受験要項」（ウェブサイトには6月頃掲載予定）をご参照ください。

・出題形式・解答方式

出題は多肢択一形式、解答方式はマークシート方式です。

・持ち物

受験票（写真を貼付のこと）、筆記用具（HB・Bの黒鉛筆、消しゴム）、腕時計（腕時計に準じるサイズの置き時計可）。

・試験時間

コース名	集合時刻	試験時間
ベーシック〈基礎〉コース	9:40	10:00～12:00（120分）
スタンダード〈中級〉コース	13:40	14:00～16:30（150分）
アドバンスト〈上級〉コース	9:40	10:00～12:30（150分）

お問い合わせ

法学検定試験委員会事務局

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-9-10 茅場町ブロードスクエア2階
Tel : 03 (5614) 5636 受付時間 10:00～17:00（土・日・祝日は除く）

※お電話でのお問い合わせは受験者ご本人に限らせていただきます。
その他のお問い合わせはメールでお願いします。

公式ウェブサイト：<https://www.jlf.or.jp/hogaku/>
E-Mail：houken_since2000@jimu-kyoku.net

Twitter： @houken_since00

